

■開催された日時 : 令和5年(2023年)11月26日(日)

13時30分受付 14時00分開会~16時00分迄

■場 所 : アルカディア市ヶ谷 私学会館 (セミナー参加者40名様・オンライン参加者20名様)

【第1部 講演】とよた真帆さん・安福謙二さん

【第2部 対談「断捨離しないなら、遺言を！」】中村久瑠美理事長・鷺見八重子さん

【休憩 TIME のストレッチ】稲葉幸枝さん

【最後に会員から高齢者施設に見る断捨離の実情を介護の現場から！】堀内信子さん

※報告書は全て一部のみを抜粋してのご報告でございます。

【運営総合スタッフ】

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ■カメラマン：藤谷清美さん       | ■受付：長沼ひろみ・大原君子          |
| ■消毒・マイクカバーの取替等：安齋政信 | ■お客様ご案内係：川崎由紀子・柳沼 舞     |
| ■とよた真帆さんアテンド：尹 霞    | ■ビデオ撮影・オンライン等：柳沼 匠・柳沼 舞 |
| ■式次第作成者：長沼ひろみ       | ■司会進行：吉川愛美              |
| ■会計：大原君子            | ■監事：川崎由紀子               |
|                     | ■チラシ・進行表・報告書作成者：吉川愛美    |



受付に理事の長沼ひろみさんと大原君子さんお二人が最後迄受付を担いました。

## ■理事長中村久瑠美のごあいさつ



今副理事長が会の成り立ちも説明しましたように、この会は小さいけれどもちょっと変わったユニークな団体でございます。毎年独自のテーマを決めてささやかながらセミナーを開いております。本日はその題目にそってですね、大変素敵なユニークなゲスト、講師の先生をお招きしております。これからの2時間ちょっと一緒に人生について考えて貴重な機会にして頂けたらと思っております。それではこれで始めさせていただきます。宜しくお願い致します。



## 第1部 講演

### ■とよた真帆さん

2002年 受賞歴も数多くある作家でもあり映画監督としても活躍されていた青山真治さんと結婚。20年間共に寄り添ったが、2021年食道癌が判明し、一年間の闘病生活を経たが、2022年3月57歳で永眠。

若いご夫婦にとって断捨離などという言葉は無縁だったはず！

しかしパートナーを失ってからとよた真帆さんは断捨離ということに深く大きな意味を見出したのです。身体は宇宙からの借り物。

お金や物はまわってこそ、使ってこそ価値がある。

遺されたものは沢山有り過ぎて未だ整理が出来ていませんが

夫が書いたもの等は書店でコーナーを作って頂くなど…

売れたものの金額はご寄付させて頂くなど、未だ々終わることなく、

大切にしていきたいものなど含めていろいろ考えています

とのお話を沢山して頂きました。



### ■安福謙二さん（弁護士）

ノンフィクション作家で“知の巨人”とよばれた立花隆さんは、氏の膨大な蔵書は全部古本屋に売ってあとに何も残すなという遺言をして2年前に亡くなりました。立花氏の顧問弁護士として長く親しくされ遺言執行者にも指定された安福弁護士が立花隆さんの生き方、人生観を紹介し断捨離をどう考えるか？

また安福先生の司法に対しても怒りを含めまして大変詳しく私たちが知り得ない事まで熱く語って頂きました。



受付～笑顔でご参加下さった参加者の皆様がメモをとるなど、とても真剣にお聞き下さっていたお姿に会員一同感謝の念がこみ上げました！



## 第 2 部

### 対談「断捨離しないなら、遺言を！」



■ 中村久瑠美理事長  
(弁護士・大学女性協会元会長)



■ 鷺見八重子さん  
(和洋女子大学名誉教授・大学女性協会元会長)

大学女性協会元会長の鷺見八重子さんと中村久瑠美理事長お二人の対談で守田賞の創立秘話が映像として写し出された写真等で明かされました。

遺言が存在していなかったら守田様の遺産は国へ。でございました。

守田賞を社会の為にも女性科学者の育成の為にも取り組みを大切にしています。



### 高齢者施設に見る断捨離の実情を介護の現場から！

■ 堀内信子さん (マルイチ会会員・介護福祉士)

長野から駆けつけて下さった堀内会員は最後の 10 分の講演にて、最終章を迎える方々はやはりどんなに素晴らしい施設に入って居られてもご家族に看取られて逝きたいという事を知って頂きたいと多くの方々との触れ合いの中で知った思いを語って頂きました。

## ■ 稲葉幸枝さん

休憩 TIME に体育教師だった稲葉理事が  
皆さんとストレッチを！

このたび稲葉理事は 55 年勤めあげた教員を卒業した。  
その理由はまた…



写真撮影にお入り頂けなかった方々や会員も居りましたが…皆さんとパチリ！！



未だ四人しかいない男性会員ですが理事のお二人が参加して目一杯頑張ってくださいました。  
奈良から駆けつけてくれた八百さんも！ 鷲見先生にもお入り頂いて会員とパチリ！！

そして毎回の様に以下、同じことをお願い申しますが、マルイチ会にて活動した方々とはいつも、いつまでも共に助け合って「前へ」と向かいたくと存じます！

遠方でなかなか例会等に出席できない方々も、長くずっと会費を払い続けて下さっている会員の方も居られそのような方々は深い愛と思いの中で会にご寄付下さっている方ですので、そのような方を裏切ることなく、これからも更なる向上を目指すと共に強い意志と思いやりを持った会である事を掲げ、皆さまと共に励んでいきたいと願います。

また、立ち上げ時にご縁を紡いでいただいた方々を現在も名簿に残させていただいて居ります。消去しておりません。

ゆえに令和6年度よりまた是非とも会員として再度お申込みいただきたくと強く願っております。

### 会費納入のお願い

令和5年度（5年4月～6年3月まで）の会費を納入されていない方もおられますが此の郵便物やメールが届いた方々は入会金及びこれまでの会費は免除しますので  
ぜひ、次年度として令和6年4月1日～令和7年3月31日迄 ご継続も！！  
正会員は8,000円、準会員は2,000円を来年4月になりましたら再度お振込み頂けますようお願い申します。

【振込先①】	みずほ銀行 青山支店 普通 3055335 特定非営利活動法人マルイチライフ・サポートスクウェア
【振込先②】	ゆうちょ銀行 特定非営利活動法人マルイチライフ・サポートスクウェア 記号：11310 番号：10337421 ほかの金融機関からの送金は下記になります 店名：一三八 店番：138 普通預金 口座番号：1033742

- 正会員 年会費 8,000円（例会での食事代が一部免除されます）
- 準会員 年会費 2,000円（例会での食事代はその都度実費でお支払いいただきます）

その違いは、例会出席での食事代として実費をお支払いいただきます。

（正会員は食事代の一部が免除されます）本NPO法人は、皆様の会費とご寄付で活動しております。目的として奨学金制度や資格取得の為にサポートなどの協力もNPO法人として永く行っていきたいと願っておりますので寄付は1口2000円ですので、会費に併せてご寄付にもご協力をお願い申します。マルイチ会員としてこれまでご参加いただいた皆様には、是非ともこのNPO法人の社員（会員と同じです）となって、今後とも一緒に活動していきましょう。では皆さま健康には十分にお気を付けて、また是非笑顔でお会いできる日を楽しみにしております。

能登半島の地震によって被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に  
お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申します。一日も早い復興を心より祈念申します。



NPO 法人マルイチライフ・サポートスクウェア  
理事長：中村久瑠美 副理事長：吉川愛美  
2024年（令和6年）1月9日

- ◆ NPO マルイチ会専用メールアドレス walnut@npo-maruichi.com
- ◆ NPO マルイチ会・HP http://www.npo-maruichi.com

